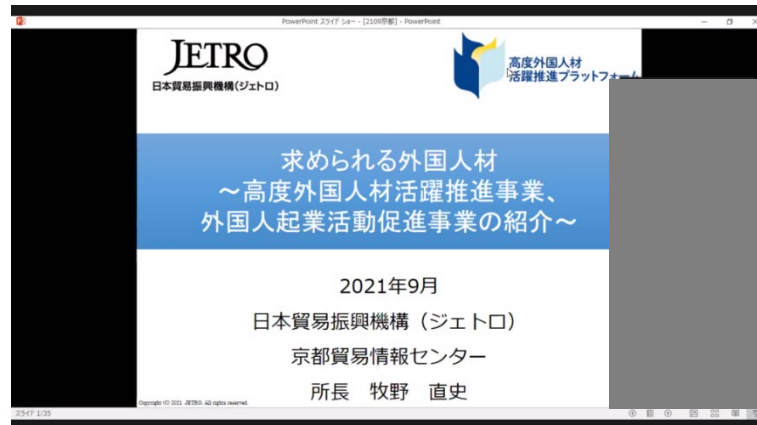


2021年度実施事業に係る実施状況等調査報告書

調査団体	公益財団法人京都府国際センター	
事業名	国際人財ラウンドテーブル（留学生就職支援事業）	
調査日	令和3年9月24日（金）、10月1日（金）	*オンライン
報告事項		
<p>1. オンライン交流会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント名：「留学生と京都企業オンライン・ZOOM 交流会」 *2部構成 ・日時：9月24日（金）13時30分～17時00分 *機構は第1部まで参加 ・参加対象：外国人留学生、大学関係者、日本企業 等 ・参加者数：84名（うち、外国人留学生53名。） ・概要： <ul style="list-style-type: none"> 共催団体である公益財団法人京都高度技術研究所からの挨拶の後、第1部では、ジェトロ京都所長の牧野直史氏による基調講演「求められる外国人財～高度外国人材活躍推進事業、外国人起業活動促進事業の紹介」が行われた。日本企業で外国人材が必要とされている現状や、外国人材が活躍している現場、外国人材の活躍に向けたジェトロの取り組み、京都での外国人による起業の支援及び外国人材を採用したい企業へのジェトロによる伴走型支援について説明された。これらは、就職活動を行う外国人留学生にとっては、日本企業のニーズ等を知る貴重な機会であり、また、外国人の採用を検討している日本企業にとっては、採用を後押しする有益な情報であったと考える。 基調講演の後には、キャリアコンサルタント小島浩子氏による日本の就職活動を学ぶ講座「マナー・身だしなみ 留学生対象」が行われた。イラストや写真が多用され、就職活動にふさわしい格好や、オンライン面接で好印象を与えるコツ等がわかりやすく伝えられ、傾聴している外国人留学生の姿を見ることができた。その後、各参加企業9社による自社紹介動画が流された。これは、第2部の企業との交流会への興味を掻き立て、引き続きの参加を促すものとなっていた。 第1部は、Zoomのチャット機能により、講座内容のポイントや今後のプログラムの案内等、適宜参加者に周知を行うことで、聞き逃した参加者への配慮を行うことや、第1部の参加者がスムーズに第2部に参加できるようにするための心配りが伺えた。 第2部の交流会では、Zoomのブレイクアウトルームを用いて、京都の中小企業9社（以下、「京都企業」という。）が、外国人留学生と3回に分けて交流会を実施した。当機構は、気兼ねなく交流できるよう、外国人留学生と京都企業以外の者はいれないという主催者側の方針を重んじ、交流会への参加は控えたが、代替として、アンケートにより、後日様子を確認した。外国人留学生による京都企業への質問や、京都企業から外国人留学生へのアドバイス等から、互いに聞きたいこと・話したいことを十分に伝えることができ、理解を深める貴重な交流の場となったと推測される。 今回の交流会全体を通して、参加した外国人留学生は、就職活動に関する情報を得 		

ただけではなく、企業との交流等により、就職活動へのモチベーションの向上に繋がったのではないかと感じた。



ジェトロ京都所長 牧野直史氏による基調講演



キャリアコンサルタント 小島浩子氏による
日本の就職活動を学ぶ講座「マナー・身だしなみ 留学生対象」

2. 実施状況等調査について

日時：10月1日（金）14時00分～15時00分

場所：オンライン（Zoom）

概要：

事業の実施状況については、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けることなく、ほぼ予定どおり実施されていることを確認した。

今回の調査対象である「留学生と京都企業オンライン・ZOOM交流会」では、過去の交流会（オンライン）の反省点を活かし、工夫を行った旨、説明を受けた。

その他、当該助成事業への意見・要望等を伺った。